

2006 年度

科目名	対象学科・学年 研究科文財(前)1 回生 研究科文財(後)1 回生	担当者
文化財学課題研究 (南方文化の研究)		池田 榮史
授業テーマ 琉球列島の考古学と文化交流		
授業の概要と目標 日本列島は東アジアの東辺に位置し、南北に細長く横たわっています。この日本列島によって、東アジアには、北からオホーツク海、日本海、東シナ海という三つの内海が形成されています。この中の東シナ海の東に連なる琉球列島は、九州島から台湾島までの間、約 1.200km に及ぶ海洋中にあり、気候帯の上では温帯から亜熱帯に含まれます。このため、琉球列島には日本本土とは異なる亜熱帯海洋性文化が形成されました。本講義ではこのような琉球列島文化の特徴と周辺地域との交流について、現在の研究状況を紹介するとともに、問題点を指摘し、その上で今後の方向性を探ってみたいと思います。		
評価方法 授業終了後、講義内容から課題を選んで、レポートを課します。出席とレポートの内容で、成績を評価します。		
テキスト 特定の教科書は用いません	著者	出版社
参考書 もう二つの日本文化―北海道と南島の文化― 日本文化の源流	著者 藤本 強 小林達雄・春成秀爾 藤本 強・田村晃一	出版社 東大出版会 学生社
授業スケジュール・内容 1、考古学と私 琉球考古学研究に出会うまでのいきさつ 2、琉球列島考古学研究の歩み (1) 琉球考古学史 (日本における琉球考古学の位置付け) 3、同 (2) 同 (沖縄における研究の歩み) 4、琉球列島の旧石器時代 (1) 形質人類学から見る琉球弧 5、同 (2) 考古学から見る琉球弧 6、縄文文化と沖縄貝塚文化 (1) 後氷期の開始と沖縄貝塚時代の幕開け 7、同 (2) 縄文時代相当段階の琉球列島 (地域区分と文化編年案) 8、同 (3) 同 (土器と石器) 9、同 (4) 同 (他地域との文化交流) 10、沖縄貝塚文化と弥生文化 (1) 弥生時代相当段階の琉球列島 (弥生文化の影響) 11、同 (2) 同 (土器と石器) 12、同 (3) 同 (貝輪交易) 13、沖縄貝塚文化と古墳文化 (1) 古墳時代相当段階の琉球列島 (古墳文化の影響) 14、同 (2) 同 (在地文化の様相) 15、沖縄貝塚時代と奈良・平安時代 (1) 日本における文献資料の登場と南島論 (1) 16、同 (2) 同 (2) 17、同 (3) 狩猟・漁労・採集経済から章句料生産経済へ 18、グスク時代と琉球王国の考古学 (1) グスクとは何か？ 19、同 (2) グスク時代の遺物 20、同 (3) グスク論争 21、同 (4) 琉球王国の成立 22、中・近世の琉球考古学 (1) 文献記録にみる琉球王国 (対外交流史) 23、同 (2) 貿易陶磁器の世界 (1) 24、同 (3) 同 (2) 25、近・現代の沖縄考古学 (1) 文献記録にみる近・現代の琉球 26、同 (2) 薩摩焼と壺屋焼 27、同 (3) 戦跡考古学 29、琉球考古学の可能性 30、私の考古学アラカルト *集中講義によるため、授業の内容やスケジュールは、少し変更することもある。		